

4 款 2 項 3 目 奥富環境センター費

奥富環境センター管理事業

(奥富環境センター)

決算事項別明細書 197 ページ

予算現額	293,469,000 円		決算額	289,757,476 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	3,711,524 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	265,717,788 円		地方債	
	増減額	24,039,688 円		その他	98,465,511 円
	増減率	9.05%	一般財源	191,291,965 円	

<目的>

狭山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、廃棄物の発生を抑制し、資源の再利用を促進するとともに廃棄物を適正に処理し、清潔な生活環境を保つことにより、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに持続可能な資源循環型社会の実現を目指します。

<内容>

家庭系一般廃棄物の収集、一般廃棄物の処理・処分及び施設の維持管理を行います。

<実績・成果等>

安全で効率的な中間処理を行うため、奥富環境センターの運転を専門業者に委託し、また、設備の点検・修繕等を実施することで、適正な運転と維持管理に努め、ごみの安定的かつ衛生的な処理を行いました。

1 ごみ処理量

区分	もやさないごみ	粗大ごみ	びん・缶等	その他	合計
収集	1,094 ^t	322 ^t	1,291 ^t	— ^t	2,707 ^t
持込	1,083	1,951	41	459	3,534
合計	2,177	2,273	1,332	459	6,241

※収集は、直営と委託の合計

2 資源化量

アルミ缶等	ステンレス	スチール缶	鉄廃材	磁性物
255 t	1 t	158 t	311 t	389 t

カレット	被覆線	蛍光管	乾電池	家電製品等	合計
824 t	17 t	11 t	36 t	132 t	2,134 t

※カレットは、びんを破碎した物

4 款 2 項 3 目 奥富環境センター費

ごみ定期収集事業

(奥富環境センター)

決算事項別明細書 199 ページ

予算現額	272,113,000 円		決算額	271,628,000 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	485,000 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			268,650,000 円	地 方 債	
	増減額			2,978,000 円	そ の 他	
	増減率	1.11%	一 般 財 源	271,628,000 円		

<目的>

狭山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、「もやすごみ・もやさないごみ」を適正に収集し、清潔な生活環境を保つことにより、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。

<内容>

家庭から排出される「もやすごみ」を週 2 回、「もやさないごみ」を月 1 回定期収集します。

<実績・成果等>

ごみの定期収集を行う事により、生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られました。

ごみ収集量

区 分	もやすごみ	もやさないごみ	合 計
委託収集量	21,642 t	1,092 t	22,734 t

4 款 2 項 3 目 奥富環境センター費

びん・缶等リサイクル事業

(奥富環境センター)

決算事項別明細書 199 ページ

予算現額	65,323,000 円		決算額	65,291,000 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	32,000 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			64,692,000 円	地 方 債	
	増減額			599,000 円	そ の 他	
	増減率	0.93%	一 般 財 源	65,291,000 円		

<目的>

狭山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、再生可能な資源である「びん・缶等」を分別収集し、適正な処理及び保管を行いながら再資源化を図り、持続可能な資源循環型社会の実現を目指します。

<内容>

家庭から排出される「びん・缶等」を収集し、選別処理を行い資源リサイクルを推進します。

<実績・成果等>

ごみの減量による環境負荷の軽減と資源の有効活用を図り、資源循環型社会の構築に寄与しました。

びん・缶等収集量

区 分	びん・缶・乾電池
委託収集量	1,291 t

※資源化量は、奥富環境センター管理事業を参照

4 款 2 項 3 目 奥富環境センター費

古紙・古布リサイクル事業

(奥富環境センター)

決算事項別明細書 199 ページ

予算現額	67,520,000 円		決算額	67,100,400 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	419,600 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			66,474,000 円	地方債	
	増減額			626,400 円	その他	
	増減率	0.94%	一般財源	67,100,400 円		

<目的>

狭山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、再生可能な資源である「古紙・古布」を分別収集し、再資源化等を図り、持続可能な資源循環型社会の実現を目指します。

<内容>

家庭から排出される「古紙・古布」を収集し、資源リサイクルを推進します。

<実績・成果等>

ごみの減量による環境負荷の軽減と資源の有効活用を図り、資源循環型社会の構築に寄与しました。

1 古紙・古布収集量

区 分	古紙・古布
委託収集量	2,147 t

2 資源化量

新聞	雑誌	ダンボール	古布等	牛乳パック	合計
455 t	1,035 t	780 t	541 t	9 t	2,820 t

※持込分を含みます。

4 款 2 項 3 目 奥富環境センター費

ペットボトルリサイクル事業

(奥富環境センター)

決算事項別明細書 199 ページ

予算現額	33,197,000 円		決算額	32,746,829 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	450,171 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			32,443,788 円	地 方 債	
	増減額			303,041 円	そ の 他	
	増減率	0.93%	一 般 財 源	32,746,829 円		

<目的>

狭山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、再生可能な資源である「ペットボトル」を分別収集し、適正な処理及び保管を行いながら再資源化を図り、持続可能な資源循環型社会の実現を目指します。

<内容>

家庭等から排出される「ペットボトル」を収集し、資源リサイクルを推進します。

<実績・成果等>

ごみの減量による環境負荷の軽減と資源の有効活用を図り、資源循環型社会の構築に寄与しました。

1 ペットボトル収集量

区 分	ペットボトル
委託収集量	325 t

2 資源化量

ペットボトル
321 t

※持込分を含みます。

4 款 2 項 3 目 奥富環境センター費

廃プラスチック類リサイクル事業

(奥富環境センター)

決算事項別明細書 199 ページ

予算現額	124,000,000 円		決算額	119,520,558 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	4,479,442 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			120,271,479 円	地 方 債	
	増減額			△750,921 円	そ の 他	
	増減率	△0.62%	一 般 財 源	119,520,558 円		

<目的>

狭山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、再生可能な資源である「プラスチック」を分別収集し、適正な処理及び保管を行いながら再資源化を図り、持続可能な資源循環型社会の実現を目指します。

<内容>

家庭等から排出される「プラスチック」を収集し、選別処理を行い資源リサイクルを推進します。

<実績・成果等>

ごみの減量による環境負荷の軽減と資源の有効活用を図り、資源循環型社会の構築に寄与しました。

1 廃プラスチック類収集量

区 分	廃プラスチック
委託収集量	2,181 t

2 資源化量

廃プラスチック
2,264 t

※持込分を含みます。

4 款 2 項 3 目 奥富環境センター費

リサイクルプラザ管理事業

(奥富環境センター)

決算事項別明細書 199 ページ

予算現額	12,397,000 円		決算額	12,118,726 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用品額	278,274 円			県支出金		
前年度比較	決算額			11,829,827 円	地方債	
	増減額			288,899 円	その他	4,640,800 円
	増減率	2.44%	一般財源	7,477,926 円		

<目的>

狭山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、持続可能な循環型社会の実現に向け、ごみの減量とリサイクルに関する市民意識の醸成を図ります。

<内容>

一般廃棄物の減量及びリサイクルに関する市民意識の啓発を図るため、講座や研修等を開催します。また、再生家具・不用品の展示及び頒布等に関する事業を行います。

<実績・成果等>

家庭で不用となった家具・衣類・図書・玩具等を安価で頒布し、再利用を促進するとともに、視察・見学や体験学習、出前講座、各種イベント、不用品の登録業務等を実施し、ごみの減量とリサイクル意識の啓発を図りました。

1 不用品・再生家具頒布実績

分類(品目)	頒布件数
衣類	11,498 件
食器類	4,081
図書類	2,974
ベビー用品・玩具・文房具・バッグ等	3,156
その他雑貨類	11,844
再生家具類	611
合計	34,164

2 リサイクルプラザ啓発事業

事業名	事業回数	参加人員
視察・見学	6 回	358 人
体験学習	22	177
イベント	27	10,556
出前講座	0	0

4 款 2 項 3 目 奥富環境センター費

剪定枝等リサイクル事業

(奥富環境センター)

決算事項別明細書 201 ページ

予算現額	9,010,000 円		決算額	7,996,332 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,013,668 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			9,089,730 円	地 方 債	
	増減額			△1,093,398 円	そ の 他	5,000,000 円
	増減率	△12.03%	一 般 財 源	2,996,332 円		

<目的>

狭山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、廃棄物の発生を抑制し、資源の再利用を促進するとともに廃棄物を適正に処理し、清潔な生活環境を保つことにより、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに持続可能な資源循環型社会の実現を目指します。

<内容>

奥富環境センター及び稲荷山環境センターに持ち込まれる剪定枝などをリサイクルし、「もやすごみ」の減量と資源化を進めます。

<実績・成果等>

奥富環境センター及び稲荷山環境センターに持ち込まれた剪定枝を資源化することで、もやすごみの約2パーセントを減量しました。

1 剪定枝等持込量

奥富環境センター	稲荷山環境センター	合 計
451 t	306 t	757 t

2 資源化量

剪 定 枝 等
466 t

4 款 2 項 4 目 稲荷山環境センター費

稲荷山環境センター管理事業

(稲荷山環境センター)

決算事項別明細書 201 ページ

予算現額	563,033,000 円		決算額	557,252,865 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	5,780,135 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	544,187,792 円		地 方 債	
	増減額	13,065,073 円		そ の 他	183,139,609 円
	増減率	2.40%	一 般 財 源	374,113,256 円	

<目的>

ごみ処理施設は、関連法令や各種公害対策基準以下で運転することが義務付けられていることから、法定点検や自主点検を実施するとともに、適切な維持修繕を実施し適正な焼却機能を保持することで、安全、安心なごみの処理を図ります。

<内容>

ごみ処理施設における、ごみ受入れ・焼却・排ガス処理・余熱利用・通風給排水・電気など設備の法定点検や自主点検を実施するとともに、機能低下した設備の更新や修繕で焼却施設の機能を保持し、安全・安心なごみの処理を実施します。

<実績・成果等>

1 ごみ焼却量等

	ごみ搬入量	ごみ焼却量
も や す ご み	30,425 t	33,521 t
そ の 他	3,681	
合 計	34,106	

2 啓発事業

小学校等の見学者（13 団体、911 人）に狭山市のごみ処理状況やごみの分類・リサイクル等の説明をし、ごみ焼却施設の必要性とごみの減量化や資源化の大切さなどの啓発を行いました。

4 款 2 項 4 目 稲荷山環境センター費

焼却灰セメント等資源化事業

(稲荷山環境センター)

決算事項別明細書 205 ページ

予算現額	141,017,000 円		決算額	140,707,615 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	309,385 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額	137,146,707 円		決算額の 財源内訳	地 方 債	
	増減額	3,560,908 円			そ の 他	10,000,000 円
	増減率	2.60%	一 般 財 源		130,707,615 円	

<目的>

循環型社会の形成を達成するため、廃棄物を燃やすときに発生する焼却灰・ばいじんをセメント及び路盤材等の原料として、全量資源化します。

<内容>

廃棄物を燃やすことにより発生する焼却灰やばいじんをセメント原料や、人工砂化、熔融固化等により路盤材等の原料として、焼却灰の全量資源化を行います。

<実績・成果等>

焼 却 灰 等		
セメント資源化	人工砂化	熔融固化
1,907 t	1,458 t	402 t

4 款 2 項 4 目 稲荷山環境センター費

稲荷山環境センター設備改修事業

(稲荷山環境センター)

決算事項別明細書 205 ページ

予算現額	71,280,000 円		決算額	69,850,000 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,430,000 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			408,897,000 円	地 方 債	
	増減額			△339,047,000 円	そ の 他	60,000,000 円
	増減率		△82.92%	一 般 財 源	9,850,000 円	

<目的>

安全で安定した廃棄物処理を推進し、施設の適正な維持管理に努めるとともに、施設・設備の長寿命化を図り、計画的な改修を実施します。

<内容>

施設保全計画による運転管理を徹底します。

延命化計画による改修を実施するとともに、環境に配慮した設備を設置します。

<実績・成果等>

1 ごみ焼却量：33,521 t

2 修 繕 料：1 件

(1)設備修繕料 狭山市稲荷山環境センター1号炉耐火物修繕 69,850,000 円

4 款 2 項 5 目 浄化センター費

浄化センター管理事業

(奥富環境センター)

決算事項別明細書 205 ページ

予算現額	91,680,000 円		決算額	89,271,281 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,408,719 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			89,396,825 円	地 方 債	
	増減額			△125,544 円	そ の 他	1,979,380 円
	増減率	△0.14%	一 般 財 源	87,291,901 円		

<目的>

狭山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿及び浄化槽汚泥を適性に処理し、清潔な生活環境を保つことにより、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。

<内容>

市内で発生する、し尿及び浄化槽汚泥を受け入れ、安全かつ効率的で安定した適性処理を行います。

<実績・成果等>

し尿及び浄化槽汚泥を迅速かつ衛生的に処理するため、浄化センターの運転を専門業者に委託し、また、設備の予防保全等を実施することで、施設の安定的な運転と適正な維持管理に努めました。

し尿収集処理量

区 分	収 集 世 帯 数	収 集 処 理 量
汲み取りし尿	143 <small>世帯</small>	1,196 <small>kℓ</small>
浄化槽汚泥	5,177	7,744
合 計	5,320	8,940